

2022

FS

世界との繋がりに気づく

武蔵野大学
学外学修プログラム
武蔵野フィールド・スタディーズ

世界の幸せを

カタチにしよう。

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

Musashino University

コロナ禍でなかったら実際に現地に行って学びたかったです。
——山梨県西桂町地域活性化プロジェクト 2022

自分の将来について深く考えるきっかけにもなり、非常に貴重で
良い体験をさせていただきました。
——西東京市役所 インターンシップ (サマー子ども教室)

FS では島の方々や引率の方のあたたかいサポートがあり、
本当にたくさんの事を体験して学べたし、新しい友達もで
きて仲良くなれたので参加してとても良かったと思っています。
FS で学んだこと、できた繋がりを大切に今後
の学校生活にも活かしていきたいです。
——八丈島 島の人々との交流及び観光モニター活動

現地と直接映像を繋いで LIVE で見せてもらえてイギリスの生活を見ることができて良かった。
——ハリーポッター&シャーロックホームズからイギリス文学を学ぶ旅

自分の受講したプログラムがオンラ
インで、本当は実際に現地へ行って
調査したいという思いもあったもの
の、授業内容が充実しており自分の
視野を広げることにつながれたと
思う。
——隣のアジア人

台湾の現在や、苦しい時期の話や台湾がどのような国なのかを知るこ
うことができました。高校の修学旅行で行く予定でしたが行けなくなっ
てしまったので今回このような機会を利用して台湾の文化、食等様々な
ことを教えていただきオンラインでも楽しむことができました。
——台湾入門～台湾を楽しみ、台湾を学ぶ～

始め、自分が参加したプログラムは料金が高いと思って
いましたが、先生が作って送ってくださった粘土から作
品を作り、焼いていただき、最後にはコメントをいただ
ける授業で、参加費以上の体験をさせていただけたと思
いました。摩耶祭に作品を展示することで、初めてお互
いの作品を生で見ることが出来、また、授業ではあまり
話すことの出来なかった人とも、その行事を通して話す
こともできました。
——作陶における伝統の創造

日本の生徒ではなくベトナムの生徒という他国の
人と関われたので、グローバルコミュニケーショ
ン学科に所属する身としては、異文化に関わる第
1 歩を踏み出せたと感じた。
——グローバル教育オンライン研修

先輩 Senior

私は、FS は普通に毎日を過ごしているだけでは気づけないことを身を持って体験することに意味がある
と思っている。そして今回、そこで気づいた事や体験したことが新たな考えや発想を生み、自分を成長
させたと思う。もっと言えば、自分を客観視できる機会でもあったと思う。そういう意味でとても有意
義な時間を過ごせたと思う。
——宮城県大崎市 世界農業遺産大崎耕土エコツアーから学ぶ歴史探訪サステイナブルな生き方

不安なことも多かったけれど最終的には村の魅力を知り、いつか実際に足を運んでみたいと思えた。
FS がなければおそらく知ることはなかったであろう上小阿仁村のことを知ることでよかった。
——はばたけ秋田県上小阿仁村！～人口 2,200 人の小さな村にある魅力を見つける～

自分の興味のある分野に触れることができて、とても楽しかったです。また、テレビなどでしか
見なかった被災地域に実際に足を運べて、とてもよい体験になりました。
——宮城県石巻市 放課後デイサービス (障がい児) あっぷるじゃんぶ石巻・あっぷるプラス

の 声 Voice

私が学んでいる子どもに関するものに参加できて、他学科の人との
交流が生まれ、様々な話を聞くことができたり、実習先の方からた
くさんのことを学ぶことができたのがよかったです。
——西東京市役所 インターンシップ (児童館ランチタイム)

今年に入ってから、ぼっち旅が趣味になったため、選択した FS がグループ単位での東京見学
ではなく、個人での見学になったのは丁度よかった。お蔭で自分のスケジュールで行動し、自由
に見学し、観光を楽しめた (本来は選択者が集合して東京見学をするという予定ではあったとい
うが)。観光においては浅草六区や東京駅など観光客が大勢集まっているところにもぎやかだっ
たり、エンターテインメントやグッズ販売があって非常に楽しかったが、浅草寺駒形堂や豊島区郷
土資料館などあまり人が集まっていないところも、隠れたスポットや、クオリティの高い立体地図、
貴重な資料、別の資料館の情報との意外なつながりといった、良い魅力を発見できた。
——江戸東京 都市史の試み

今回の FS では自分が興味ある
働き方について深く考えること
福祉分野で頑張ろうと思うこと
——武蔵野市福祉公社 高齢

分野をさらに深堀でき、将来の
が出来ました。また、改めて
が出来ました。
者福祉支援インターンシップ

自分が関心があった仏教を深く学ぶことができた点がとても良かったと思う。
仏教という、自分の専門とはまた異なった学びによって、自分の中で世界が
広がったように感じている。
——仏さまとの出会い

世界の幸せをカタチにする FS



武蔵野大学 学長

西本 照真 にしもと てるま

武蔵野大学は1924年の創立から99周年を迎え、いよいよ翌年の2024年には100周年を迎えます。長い歴史と伝統を重ねてきた大きな節目として、更なる発展の跳躍台となることを念じています。教育においては、「世界の幸せをカタチにする。」というブランドステートメントに基づいて、2050年の世界を担うcreativeな実践者の輩出を目指しております。2050年とは、今、大学で学んでいる学生たちが50歳前後になり、社会の中核で活躍する時期。その未来社会が、人類、世界、生きとし生けるものにとって幸せなものになりうるかどうか。今、大学で学んでいる世代に、世界が直面する課題に向き合い、解決していくための想像力、実践力を身につける教育が求められています。そこで、本学では必修科目の学外学修プログラム「フィールド・スタディーズ」において、1年生2,000人以上が海外や国内各地を訪れ、フィールドワークや地域活性化支援、観光振興支援、地域福祉支援、インターンシップ等を実践し、自身の専門分野と社会とのつながりを体感する学外学修の授業を展開しています。このような外に出かける活動、実社会の課題に絶えず向き合いながら、学年が進むに従いそれぞれの専門的な学びを深めていく教育を、武蔵野大学の学びの基本スタイルとしています。創造性を養う実践的な教育を通して、2050年という未来に至る世界の諸課題を担い、他者と協同しながら主体的に解決していく実践力が養われてくることでしょう。本取組みの実績と検証・分析、再構築が、次代の新しい教育を創っていきます。この冊子を通して、多くの方に本取組みについて知っていただけることを願ってやみません。

01
02
03
04
05
06
07
08
09
10

先輩の声

世界の幸せをカタチにする FS

フィールド・スタディーズって？

響学スパイラルとFS

選べるFSの種類－基礎FS－

11
24
25
26
27
28
29

ピックアッププログラム

令和4年度開講プログラム一覧（基礎FS）

令和4年度開講プログラム一覧（基礎FS）

令和4年度開講プログラム一覧（発展FS）



武蔵野大学

学外学修推進センター長

山田 均 やまだ ひとし

1年次の夏に開かれ学生全員が参加する基礎フィールド・スタディーズ（基礎FS）科目と各学年に開かれる発展フィールド・スタディーズ（発展FS）科目は二つながら、海外や日本の各地で本学を応援して下さる方々のご協力に支えられつつ、本学のブランドステートメントである「世界の幸せをカタチにする。」人材を目指す実践科目となっています。大学の門から外に足を踏み出し、そこで出会った人たちとの共同作業や、それまで見えていなかった人間の偉大な営為にふれることで、互いに結びあい支えあって存在しているこの世界とそれが抱える課題を感じ、自分の果たすべき仕事は何かを考えるきっかけとなることを目指します。自己を開き、現実世界に踏みこんで、その課題を我がこととして向き合うことこそが、社会の中で生かされて生きている自己に出会うのに肝要であると考えております。ここにフィールド・スタディーズ(FS)にご理解を賜り、毎年のご協力をいただいております皆さまへの感謝を述べさせていただくとともに、学生の皆さまが、世界を感じ、世界の幸せに思いをいたしていただけるよう、心より念じてやみません。

世界を感じ、
自己に出会う

フィールド・スタディーズって？

フィールド・スタディーズは、大学の外に飛び出し、地方や世界が直面する課題に気づき、解決していくための想像力、実践力を養っていく武蔵野大学独自のプログラムです。1年生を対象とした必修科目の基礎FSと、1年生以上を対象とし選択科目として開かれる発展FSの2種類があります。

基礎FSでは、学生同士はもちろん、受入先の方や教員、そこに住む住民の方等との深い交流を通して、新しい価値観を育み、視野を広げ、専門課程における目標設定や動機付けを促していきます。

発展FSでは、SDGsの指標を実現するため、上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対して解決策を提示し、世界の幸せをカタチにするHappiness Creatorを育成していく事を目的としています。

毎年約 70
プログラム開講

自分に合った
プログラム選択



基礎FSは必修
※一部学部を除く。
発展FSは選択

座学だけじゃ
ない学び

新たな価値観
新たな経験
の獲得

学部を超えた
仲間たち

響学スパイラルと FS

武蔵野大学では、本学で学ぶすべての学生が 2050 年の社会で活躍できるよう新たな「学びのカタチ」を創造しました。それは、【問い】から始まる学び方。ここ武蔵野大学に集うあらゆる人々が感性、知恵、響創力を互いに響き合わせ問い、考動し、カタチにして、見つめ直す 4 つのステップを繰り返しながらともに学び、成長していく学びのスタイル。はじまりは、たった一つの小さな問いかもしれません。そこから生まれた小さな成果がこのスパイラルの先で、やがて大きな価値観の変容をもたらすとき世界が少しでも幸せになるようにと願って。響学スパイラルは、世界の幸せをカタチにするための、わたしたちの挑戦です。



武蔵野大学の新しい学びのスタイル「響学スパイラル」を、フィールド・スタディーズでは、【問う】・【考動する】・【カタチにする】・【見つめ直す】の 4 段階に展開して実践しています。

第一に学びの始まりとなる【問う】では、プログラムの開始前に行われる事前授業で、担当教員の指導の下、講義やグループワークを通し、自分なりの目標やゴールを設定していき、問いを立て、実習地の問題や課題に向き合います。

第二に【考動する】では、目標やスケジュールに沿って、同じプログラムに参加をした仲間と共に課題解決に取り組み、チームで協働しながら各自が主体的に、試行錯誤を繰り返し、理解を深めていきます。

第三に学外学修の最後には、【カタチにする】ことを目的とした成果発表を行います。実習を通して経験したことや学んだこと、感じたことを受入先や関係者がいる場で共有を行います。

実習の工程がすべて終了した後、最後の【見つめ直す】として、事後授業やレポートを通しての振り返りや洗い出しのフェーズに移行します。ここでは事前授業から始まり実習終了までの内容を反芻、評価をすることで次なる課題の洗い出しや目標の設定を促しスパイラルをまわしていきます。

フィールド・スタディーズでは、この一連の響学スパイラルを通して、FS 以降に行われる専門分野の学びの土台を形成するだけでなく、人とのつながりの中で育まれるご縁やご恩を感じ得ること、人格形成を図ること、学生自身に自身の可能性と役割に気づいてもらうことを理念としています。



選べるFSの種類 - 基礎FS -

基礎FSは毎年約70プログラムが展開されています。プログラムの選び方は、内容で選ぶのはもちろん、以下の様に＜開講型＞や＜期間＞で選ぶこともできます。数多くの中からそれぞれの学修スタイルに合ったプログラムを選択する事ができます。

- ※ プログラムによって、期間や開講型が決まっています。
- ※ 受講する年度によっては、期間や開講型が異なる場合があります。
- ※ 告知した期間や開講型が実施前や実施中に変更となる場合があります。
- ※ オンライン型については短期のみの開講期間になります。



＜開講型で選ぶ＞

＜期間で選ぶ＞

宿泊型



宿泊型プログラムは、学外学修期間中、同じプログラムに参加をした仲間と寝食を共にしながら学修を進めるプログラムです。学生同士だけでなく、受入先や一般の方々との交流を通じて、コミュニケーション能力や協調性といった力を養う事もできます。仲間と共に何かを達成したい、学びたい、色々な人と関わりたいという方向けのプログラムです。

通学型



通学型プログラムは、都内近郊に実習地があり、自宅から通う事ができるプログラムです。主に市役所や児童館といった各種施設等でのインターンシップや現場実習を行います。交通費や宿泊費が宿泊型と比べ安価となっているため、宿泊は嫌だけど、人と触れ合いながら何かをしたい方や家から通いながら学修をしたい方等向けのプログラムです。

オンライン型



オンライン型プログラムは、ZOOM等を介した双方向型と動画視聴を行うオンデマンド視聴型があります。基本的には、オンラインで授業が完結するようになっています。普段足を運ぶことのない海外や遠方の地域と繋がり、直接現地の文化や歴史などに触れる事ができます。自分のペースで学修を進めたい方向けのプログラムです。

中長期



中長期プログラムは、24時間以上の学外学修時間と7コマの事前事後授業で構成されています。実習期間（目安）は、5日～16日間と長めに設定されています。プログラム内容としては、インターンシップや現場での実習等、時間をかけて深く踏み込むため、濃密な体験や経験をすることができます。修得単位数は1単位(必修)に加えて、実働時間により複数単位を修得が可能となっています。

短期



短期プログラムは、基本的に事前事後授業を含む24時間の学外学修時間で構成されています。実習期間（目安）は、3～5日間程度と短く、修得単位数は1単位(必修)のみとなります。プログラムの内容は、空き家調査やエコツアー体験、茶道や座禅の体験等、プログラムの目的によって多岐にわたります。中長期プログラムよりコンパクトな期間の中で、普段できないことを体験するチャンスが数多く用意されています。





基礎 北海道



北海道 東川町役場 地方行政フィールドワーク

30 年以上前から写真文化を核とした町づくりを進め全国的にも珍しく人口が増加し、全国の自治体から注目されて元気のある町で、数多くのユニークな施策に取り組んでいる行政の仕事について学びます。プログラム内では、東川町の取組の一つである写真にも触れ、プロの写真家等の講習を踏まえ、東川町の町を撮影する撮影会も実施します。東川町の魅力に触れ、取組についても学び、自分が地方公務員だったらを考えるプログラムです。



【概要】

開講型：国内宿泊型プログラム
期間：短期
日数：3泊4日
費用：約 80,000 円
人数：30 名

【日程】令和 4 年度実績

1 班：8 月 30 日～9 月 2 日
2 班：9 月 6 日～9 月 9 日
3 班：9 月 13 日～9 月 16 日
※ 別日に事前授業を開講

【先輩の声】

- ・ 学部で学ぶこと以外について、学ぶことができた。
- ・ 写真という取組みに触れることができた。プロの方に指導をしていただいて写真の撮り方や見せ方についても学べた。
- ・ 3 泊 4 日という短期間に積極的に話しかけに行って、色々な人との交流を深め、コミュニケーション能力が上がったと思う。
- ・ 公務員でも積極的に新しいことにチャレンジして良いんだということを学んだ。
- ・ はじめて会う人たちでグループワークをすることによって、自分も何か貢献しなければと思い、積極的に参加することができた。3 学期からグループワークをする姿勢が変わった。
- ・ 役場や役所の方は町や市のために、よりよい行政が行えるよう日々考えて取りくんでいることを知った。FS 後、私の住む市の行政はどうなってるのか興味をもつようになった。

【プログラム担当より】

このプログラムでは、北海道東川町の歴史や行政等について触れ、地方公務員の仕事を実際に学び、そこに住む方々へのインタビュー等を通して実態を把握、自分が公務員になったら、何をしたいのか、何ができるのかを考えていきます。実習地となる北海道東川町は、北海道のほぼ中央に位置する人口約 8 千人の町。飲まれるお水は上水道の水ではなく、旭岳で雪解けした塩素消毒のない美味しい水が使用されており、1985 年には世界で初めて「写真の町」としてまちづくりを展開したことで広く知られています。また人口の増加を続ける町としてもニュースで取り上げられており、それらの裏には役場の方々の努力が大きく関係しています。このプログラムで、躍進を続ける役場の仕事を学び、自身が公務員になったら、自身が公務員であったなら何ができるのかを一緒に考えてみませんか。



基礎 東京



共生社会フィールド・スタディーズ 身近なバリアを探る（東京）

障がいの有無にかかわらず全ての人が共に生きる社会（インクルーシブ社会）の推進にむけ、私たちの周りにあるバリアを克服するために必要とされる視点や行動を学びます。特に以下の3点については、本プログラムを通じて学修してほしい内容です。① 障がい、あるいは身体的制約によって、私たちの身近に様々なバリアがあることを理解し実践する。② 共生社会の実現に向けて、各自の専門でどのようなことができるのかを考え、今後の学修に活かす。③ 立場の異なる人を尊重し、グループ活動を通じて主体性と協調性のいずれをも身につける。具体的には、山口県宇部市のご協力のもと、実際に視覚や聴覚に障がいのある方からオンラインで講義を受けます。また、疑似的な身体的制約下での活動を体験します。これらを踏まえ江東区内（森下、門前仲町、清澄、豊洲各エリア）をグループで町歩きし、どこにバリアがあるかを実際に調べ、バリアマップを完成させます。



【概要】

開講型：国内通学型プログラム
期間：短期
日数：6日
費用：6,000円
人数：122名

【日程】令和4年度実績
9月5日～9月15日
※ 別日に事前授業を開講

【先輩の声】

- 講義の中で高齢者や障がいを持っている方の苦勞を、身をもって感じることができた。机に向かってただ話を聞いているだけではなく、実際に体験する機会があったのはとても良かった。今回の FS のおかげで、バリアフリーやユニバーサルデザインに興味を持つようになった。
- 自分の学部について " 現代社会に生きる学び " を考える機会になったのがとても良かった。
- 自分が学んでいる学問に通じる部分の学びが得られたのがまず良かった。グループで行動する機会が多かったが、色々な人の意見を汲み取れるように同じ学科が被らないような編成をしていたのも良い工夫だった。
- グループワークで初対面の人とのつながりができただけではなく、日に日に深めていくことができたことは自分の財産になったと思うし、街歩きの取組もとても有意義なものであった。

【プログラム担当より】

プログラム紹介文にも記載している通り、このプログラムの狙いの一つは、福祉を専門に学ぶ学生以外にも門戸を開き、より多くの学生にインクルーシブ社会への視野を広げて、自身の学びに活かしてもらいたい点にあります。そのため、講義や体験型など、個人の学修だけでなく、グループによる活動も大変重視しています。その工夫の一つがあらかじめ所属学部学科をシャッフルしたグループの作成と座席の指定です。偶発的にできたグループだからこそ、活動に必要な主体性や協調性を学ぶことができ、また異なる価値観や考えを持った者同士での交流を通じて新たな発見や自身に変化を感じ取ることができます。今まで見えなかったことが見えてくることで、自身の専門の学びにも役立つはずで、武蔵野大学が目ざす「世界の幸せをカタチにする。」人材の第一歩がここにあります。



基礎 徳之島



鹿児島県SDGs未来都市「徳之島」「豊かさ」溢れる島民の暮らしエコツーリズム開発体験

さあ、シマの宝を見つける学びの旅へ! 10 人で挑んだ、シマの「宝」を見つけ、伝えるプロジェクト! 2021 年に世界自然遺産登録された徳之島の豊かな山・海。それらの自然と共にある島民の暮らし。自然や人に感謝する「文化」や、助け合いの精神である「ユイ」など自然と共に織りなされてきた人々の暮らしの中にはさまざまな「豊かさ」が存在しています。今回、本プログラムでは徳之島町 下久志集落の生き方を体験的に取材、そのかけがえのない価値を言葉にすること、そしてそれが伝わるエコツアーの企画に挑戦しました。島民の皆様に多大なるご協力をいただき、各々のシマの「宝」を見つけた学生たちは、最後には自身がエコツアーガイドとなって、徳之島町の町長をはじめとする町の皆さんと実際に島内を歩きながら発表することができました。



【概要】

開講型：国内宿泊型プログラム
期間：中期
日数：11 日間（移動日含む）
費用：80,000 円
人数：10 名

【日程】令和 4 年度実績

8 月 17 日～8 月 26 日

※ 別日に事前事後授業を開講

【先輩の声】

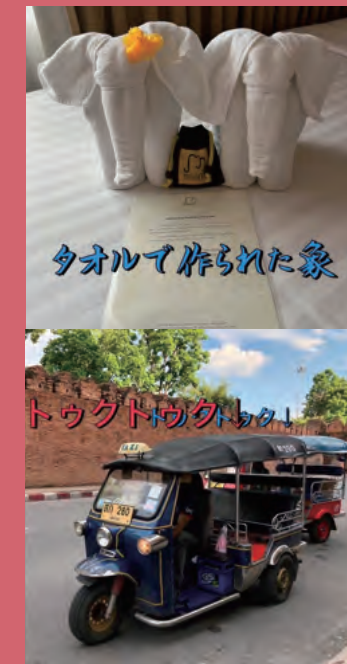
- 水があるからこそ、山や海があり、生命の循環があって、今の私たちがあるということ学びました。「当たり前ではなく」「それがあるからこそ私がある」と常に考えて行動していこうと考えました。
- 最終的には自分達の理想のエコツアーを完成できて、集落、役場の方もすごく良かった!と仰ってください、目標達成できました。私たちの班の準備が遅く、ギリギリまでかかってしまったのですが、相談に乗ってくださった集落の方々がいいたからこそ、ここまでできたのだと思っています。
- 一番心に残った活動は下久志分校の麒麟の色塗りと磯歩きです。集落という輪の中に入れてもらった感じがして繋がりを感じ、嬉しかったです。
- たくさんの初めてを経験して、帰るのが寂しくてみんなで帰りの船で泣いて、留学した気分にもなれました。同じ日本でもこんなに暮らしが違うということも知れたし、たくさんの人と出会ったことで、視野も広がった気がします。

【プログラム担当より】

武蔵野大学の徳之島町との連携活動は今年度で 8 年目となりました。令和 3 年度夏のオンラインプログラムを経てさらにパワーアップした本プログラムは、久しぶりに現地での実習が叶い、亀徳港で「おかえりなさい」と徳之島町役場の皆様に迎えていただいたところから始まりました。帰ってきた学生たちは「〇〇ができて良かった!」で終わるのではなく口を揃えて「それができたのは協力いただいた方のおかげです!ありがとうございました!」と報告してくれました。なぜできたのか、という部分まで考えることができているのは、徳之島の皆様が温かく学生たちを迎えてくださり、何度も何度も大切なことを教えてくださった賜物だと感じました。最後は涙の「いってきます」で徳之島を出発した学生たちは一回りも二回りも成長して帰ってきてくれました。

白象の国

タイでの仏教施設や文化施設の訪問、サイアム大学学生との交流を行います。旅程の前半では、首都バンコクに次ぐ第二の都市チェンマイに訪問します。チェンマイで最も格式の高い寺院「ワット・プラシン」で礼拝したり、チェンマイ大学構内を見学します。チェンマイからランパーン経由でバンコクに行くには、列車を使い、タイの雄大な自然や現地の暮らしを車窓から眺めながら移動します。旅程の後半では、首都バンコクに訪問します。新市街や市場でウォーキングツアーをして、活気あふれる街の雰囲気を味わいながら、タイ国民の信仰の拠り所となっている様々な寺院に訪れたり、現地のタイ料理を食べたりします。実際にタイに訪問することで、日本との文化や思想の違いを実感し、新しい気づきや学びを得られます。



【概要】

開講型：海外宿泊型プログラム
期間：短期
日数：6泊7日
費用：約250,000円
人数：16名

【日程】令和4年度実績
9月1日～9月7日
※ 別日に事前授業を開講

【先輩の声】

- 先生がいろんなことを教えてくれて、とてもためになったし、より楽しめた。
- なかなか海外に行きにくい時期に海外に行くことができ、現地の人や海外の文化に触れ合うことができたことはとても貴重な経験になった。
- 本当にとても良い経験になった。今でもFSを通して繋がった友人とは会う機会を設けている。ぜひまた参加したい。
- 通常授業での対面が少ないことから、大学内での友人とのかかわりがなかったが、FSを通じて多くの人と関係が持てたことがよかった。

【プログラム担当より】

タイは、東京からも飛行機で6時間前後と比較的近く、観光客を受け入れることに力を入れているので、気軽に訪問して楽しむことのできる場所です。海外に行ったことがない方にとっても、初めての海外体験をするのに最適な国だと思います。また、サイアム大学で現地学生と深い交流ができるので、現地の人々の暮らしや考え方をより知ることができますし、専門の教員による説明や解説を聞き、各施設の歴史的な意義・文化的な価値などを知ることができます。これまでタイに行ったことがある方であっても、このプログラムに参加することによって、なかなか他では体験できない貴重な経験が得られるのではないかと思います。初心者から上級者まで、広く参加をお勧めしたいプログラムです。

基礎 タイ





基礎

那須甲子



那須甲子の森 SDGs 運動会 ～自然の中で感じる、学ぶ、考える～

武蔵野大学看護学部生の提案から始まったこのプログラム、福島県那須甲子の森の自然の中でフィールド・ワークを行うことによって、自然の中で感じ、学び、考えるプログラムです。都会の生活の中で体験することのできない、自然からの学び。自然に触れ、ものづくりを体験しながら、SDGs や那須甲子の自然を感じることができます。全プログラムの中で、唯一の学生考案プログラムとなっています。国立那須甲子青少年自然の家を中心とし、周辺地域での森の散策やゴミ拾い、ナイトハイクや地域素材を駆使した染物やボタニカルキャンドルの作成等を通じて、SDGs 学修および自然体験活動を実施します。最終発表では、那須甲子地域の魅力をそれぞれまとめ、動画形式にて発表します。



【概要】

開講型：国内宿泊型プログラム
期間：短期
日数：4泊5日
費用：21,000 円
人数：12 名

【日程】令和 4 年度実績
8 月 27 日～8 月 31 日
※ 別日に事前授業を開講

【先輩の声】

- ・自分達の少しの心がけや行動で、豊かな自然を守ること貢献できるのだと実感しました。SDGs ときくと、世界規模の大きな問題として捉えてしまいがちで、自分達にできることはないのではないかと感じてしまうことがあるかもしれませんが、今回の体験から、ちょっとした行動の積み重ねでも、豊かな環境を守ること貢献できるのだと知り、今後も自分たちができることを意識して行動していきたいと思いました！
- ・夜には森の中を散策して、きれいな星空を見ることができました。また、遠くから街の灯りを眺めると、こんなにもたくさんの電気を使用しているのだと目で見て実感しました。この体験からは、私たち一人一人が少しずつでも節電を心がけることで豊かな自然を守ることにつながるのではないかと考えました。
- ・コンビニや街頭、舗装された道等はなく、そういったものから離れることによって、享受していたもののありがたさ、生活の中で消費するものの多さ、そして何より自然本来の壮大さに気がつくことができました。

【プログラム担当より】

このプログラムは、学生が学生のためのプログラムを企画するイベントである「武蔵野大学 SDGs× 学外学修アワード」から生まれたプログラムです。SDGs 関連のイベントに対する学生の思いと自然の中での体験・学修にける教員や受入先の熱意が合わさり、令和 4 年度に初実施を迎えることとなりました。学生たちは廃材利用のアート体験や飯盒炊飯等からモノの再利用やフードロスといった「無駄をなくすこと」について深く考え、自身でできるたくさんの小さな心がけを見つけっていました。受入先の方も自然体験活動のプロフェッショナルで且つ学生とも距離が近く、どんな質問にも答えてくれます。世界が取り組む SDGs を自然に囲まれた環境で考え、学んでみませんか。



発展 東京

発展 FS とは・・・

発展 FS は、1 年生以上の全学生を対象とした選択科目で、連携している企業や自治体等でのインターンシップやフィールドワークを含む実践的且つ少人数制の授業となっています。基礎 FS に比べ、より発展的な内容で授業が展開されるため、同じモチベーションを持った学生との協働は必要不可欠になります。発展 FS には、発展 FS (全学) と発展 FS (学科) の 2 種類があり、自身の学修スタイルに合わせてプログラムを選択することができます。

選択科目
全学と学科

モチベーションが
同じ他学科の仲間

より社会と連携
されたプログラム

広がる可能性

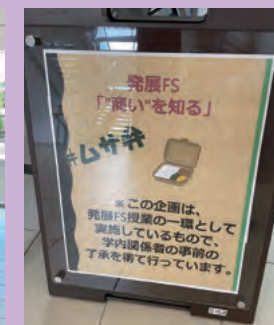
発展 FS (全学) は全学科の学生を対象とした学科横断型のプログラムです。多様な学科の学生が集まる中で、学科の専門分野の他に、自分の興味のある分野について、学外学修プログラムを通して実践的に学びを深めます。

発展 FS (学科) は各学科で企画・立案された学外学修プログラムを通して、これまで学科で培った専門知識を学外で活用し、実践的に学びを深め、専門性により磨きをかける学科限定プログラムです。

どちらも学外学修プログラムを通して、個人の興味や専門をさらに深めることができるプログラムを展開しています。

“商い”を知る

本学有明キャンパスにあるロハスカフェ有明のご協力のもと、限られた予算の中で、学生たちはお弁当販売を通して実際に商いをを行います。何をどのように売るか、商品開発・企画から交渉、マーケティング、経理、決済にいたるまで全てを学生の責任において実施しています。商いの始まりから終わりまでの全てを実際に体験することで、モノを売り買いする事の楽しさや難しさ、責任等について学んでいきます。また、モノの売り買いは我々の社会、生活における基本となっているため、このような経験は、どの学生にとっても、それぞれの専門的な学びにリンクする貴重な機会になるに違いありません。



【概要】

開講型：国内通学型プログラム
期間：通年
費用：5,000 円
人数：10 名

【日程】令和 4 年度実績
9 月 27 日～11 月 10 日
※ 別日に事前事後授業を開講

【先輩の声】

- ・裁量が大きく、やりたい事を全てではないがやれる場所だった。対等なメンバーで率直な意見交換が可能な場所だったので、自己を見つめ直すきっかけとなった。
- ・学生主体で活動出来たため、課題解決能力が鍛えられたと思います。また、報連相という基本的なことの大切さを学ぶことができました。
- ・座学では学べないような商売の流れというものを肌で感じることができます。わからないことだらけで最初はとまどいも大きかったですが、一緒に履修をしている仲間と支えあいながらどうにか駆け抜けることができました。少しでも気になったらまずはチャレンジしてみると貴重な経験と思い出を得ることができます。

【プログラム担当より】

令和 4 年度に新規開講したプログラムです。「商い」を学ぶために『メニューの開発をする』のか、『自ら考案したお弁当を実際に販売する』のか、学生たちが話し合い、学内でお弁当を販売することになりました。実際に走り出してみると、保健所への届け出や、告知方法やチラシ作成、学内販売にあたっての承認申請など学生にとっては初めての経験であり、販売開始ギリギリまで試行錯誤の連続でした。しかし、検討・改善を重ねていくうちに、徐々に販売数は伸びていき、またお客様の中にはリピーターも現れ、大変ながらもやりがいを感じている学生の姿が印象的でした。他学科・他学年の学生と協力しあいながら、「商い」の楽しさ、難しさを肌で感じてみませんか。

鹿角市中心市街地活性化

今全国各地で人口減少が大きな課題となっており、鹿角市も例外ではなく、人口6万人だった昭和30年のピーク時に比べ、現在は約半数となっています。そこでこれからの将来を担う鹿角市内の中高生と武蔵野大学の学生と一緒に商業の未来を考える「鹿角市中心市街地活性化プログラム」を実施しました。具体的には、鹿角市内で共同生活を行いながら地元商工会や商店会、自営業者など多様なステークホルダーへのインタビュー調査を実施。ワークショップでまとめた提案を市長をはじめとした市民の皆さんに向けて報告しました。また十和田八幡平駅伝競走全国大会にボランティアとして参加したり、鹿角市の伝統行事である「花輪ねぶた」の見学も行いました。



【概要】

開講型：国内宿泊型プログラム
日数：8日間
費用：60,000円
人数：7名

【日程】令和4年度実績
8月6日～8月13日
※ 別日に事前授業を開講

【先輩の声】

- ・ 厳しい状況だからそれに甘えて現状のまま衰退していくのではなく、この現状からどんなことが出来るのかを常に考えていくのが大切なんだと今回の活動で感じました。
- ・ 多くの方にお話を伺うことで多様な意見を拝聴できました。商店街の衰退にショックを隠しきれない声などとても切実なものも含まれていましたが、それらは全て愛のあるものでした。鹿角に対し愛があるからこそ忌憚のない意見であると感じました。
- ・ 私達が計画通りに動けるよう、事前に準備してくださった鹿角市の職員さん、暑い環境の中で、大学生と同じスケジュールをこなした中高生、そしてなによりも私達を温かく受け入れてくださった鹿角市の住民の皆さんには感謝しかありません。貴重な経験を本当にありがとうございました。

【プログラム担当より】

東京や首都圏で生活していると、なかなか人口減少地域の現状について実感することが難しいかと思います。しかし日本の一部を除けば同じような課題に直面している地域は数多く存在しています。本プログラムは実際に地域に出向き、そこに住んでいる中高生と一緒に地域課題に向き合って解決策を考えるというのが特徴です。大学生は先輩として中高生をリードしながらも、中高生から多くの事を学んでもいます。担当教員の経営学科小暮先生は長年墨田区の職員として行政の現場で実際にまちづくりにかかわってきた専門家です。公務員を目指す方だけでなく、地域活性化や次世代育成に関わる仕事を目指す人には最適なプログラムです。

鹿角市UIターン者の起業活動に関する研究プログラム

かねてから基礎FSで受入実績があった秋田県鹿角市からの働きかけにより本学と鹿角市は、2020年に包括連携協定を締結しました。地域活性化政策の一環として鹿角市も移住者定住に向けて様々な取り組みをしています。本プログラムでは、鹿角市内で共同生活を行いながら、鹿角市出身でUターン者として起業した方や鹿角市の魅力に惹かれIターン者として起業した方にインタビュー調査を実施。ワークショップでまとめた内容を報告会で発表しました。また、秋には武蔵野キャンパスで行われた鹿角市移住支援のNPO法人「かづのclassy」主催の移住希望者向けのイベントに参加し、再度発表を行いました。



【概要】

開講型：国内宿泊型プログラム
日数：7日間
費用：45,000円
人数：12名

【日程】令和4年度実績
9月12日～9月17日
※ 別日に事前授業を開講

【先輩の声】

- ・ 合宿中も不自由なく生活することができ、学ぶ環境が整っていて、とても充実した発展FSになった。また、自分自身の興味のある合宿に参加することができ、改めて関心を深めることができた。今回の経験を就職活動で大いに活かしたい。
- ・ 鹿角市の方々やUIターンの方々とは交流して新たな発見や学びがいくつもあり、地方に対する価値観が変わったり、可能性が広がった。
- ・ 良かった点は、みんなと協力して発表を完成させることができた点と、自ら考えてやるということが大事になってくるが多かった点で、自発的にやるということができた点が良かったと思いました。最終的には普段できないような体験が沢山できたので大変だったがとても楽しかったと感じています。

【プログラム担当より】

人口減少に悩む地方の解決策として移住者支援は大変重要な位置を占めます。しかし都市圏に比べて雇用環境が恵まれているとはいえないのが実情かと思います。そこで今までのキャリアを生かし移住先で起業するということは、大変魅力的な選択肢の一つかもしれません。そこで実際に鹿角市で起業した方々の生の声を聴くことで、良かった面だけでなく、課題も浮き彫りになります。将来起業を目指す方だけでなく、起業や移住を支援する側や、行政機関で働きたい方にも役立つプログラムです。専門教員の指導により実践の場で経営学を学んでみませんか？

令和4年度 基礎フィールド・スタディーズ 基礎 開講プログラム一覧



No	開講型	国内外	期間	プログラム名	プログラム概要	派遣 学生数
1	宿泊	国内	短期	日本文化 海の道	福岡県対馬から福岡市・大阪・奈良を巡り、日本文化の成り立ちについて学ぶ。	18
2	宿泊	国内	短期	八丈島 島の人々との交流及び観光モニター活動	東京都の離島である八丈島に実際に訪問を行い、フィールド・ワークや老人ホーム等での活動や交流を通して、現地の環境・観光・教育について理解を深める。	23
3	宿泊	国内	短期	北海道東川町役場 地方行政フィールドワーク	35年前から写真文化を核とした町づくりを進め全国的にも珍しく人口が増加し、全国の自治体から注目されて元気のある町で、数多くのユニークな施策に取り組んでいる行政の仕事を経験する。	30
4	宿泊	国内	短期	京都・西本願寺を中心とした仏教フィールド・スタディーズ ～仏教思想・仏教文化の源流を探る～	京都・西本願寺の宿泊施設に滞在し、通常では経験することの少ないお寺の活動や、茶道・坐禅などの体験を通して、仏教が日本の日常生活や伝統文化に深く浸透していることを感じてもらうプログラム。	28
5	宿泊	国内	短期	武蔵野大学×長野県信濃町 実体験! 地方発掘プロジェクト	信濃町の歴史、産業等を学び、そこから地域の活性化に繋がるPR動画を作成する。町内の事業所などに協力をいただき、信濃町の生活に根付いた人々とコミュニケーションをとりながらPR動画を作成する。	4
6	宿泊	国内	短期	東方の華	ブッダ以後約1000年の後、6世紀にアジアの東端である日本まで伝わった仏教は、その後多様な展開を見せた。日本に花開いた仏教の諸相を代表的な16寺院を訪問することで体感する。福岡・大阪・京都・長野・東京を巡る。	19
7	宿泊	国内	短期	長野県信濃町における地域産業の体験と課題発掘	実際に農業を体験し、地方産業やこれからの農業ビジネス、6次産業化などについて考える。また、信濃町の産業、観光、環境などを調査し、課題や利用可能な町の資産を発掘して信濃町の地域活性化のための企画をチームで作成発表する。	27
8	宿泊	国内	短期	のじりこマルシェ 英語インターン(長野県信濃町)	国内ホームステイで外国人との触れ合い、語学学習や文化の学び、外国人経営の宿泊施設での就労体験を主に実施。加えて、野尻湖サンデーマルシェでの英語版チラシ作成、広報などのアシスタント業務、農業体験、アファンホースロッジでの馬引き体験などの自然体験を実施。	6
9	宿泊	国内	短期	那須甲子の森 SDGs運動会～自然の中で感じる、学ぶ、考える～	武蔵野大学生の提案から始まったこのプログラム、那須甲子の森の自然の中でフィールド・ワークを行うことによって、自然の中で感じ、学び、考えていく。都会の生活の中で体験することのできない、自然からの学び。自然に触れ、ものづくりを体験しながら、SDGsや那須甲子の地域課題を考えていく。	11
10	宿泊	国内	短期	宮城県大崎市 世界農業遺産大崎耕土エコツアーから学ぶ歴史探訪サステナブルな生き方	何世代にわたり継承されてきた伝統的な農林水産業とそれを取り巻く自然(生物多様性)と文化を国際連合食糧農業機関(FAO)が世界農業遺産に認定した大崎耕土でのエコツアーを体験することで日本型SDGsのモデルとしてサステナブルな生き方の一つを学び、エネルギーの自給にも挑戦している生活も体験し、近未来の持続可能な生き方の心地よさを実感する。	38
11	宿泊	国内	短期	宮城県名取市 関上(ゆりあげ)～3.11を忘れない～自分で考える防災プログラム	東日本大震災から学び、今後の防災・減災・復興のあり方を検討するプログラム。津波の被害を受けた宮城県名取市関上にて語り部さんの話を聞き、天災への対策を学び、自分の五感と心で感じて、防災・減災・復興について考えを深めていく。名取図書館耐震構造・震災蔵書見学、防災公園見学、防災住宅見学、関上地区フィールド・ワーク、語り部さんの講話、現地からのZOOMによる防災士宮城県防災指導員による講話等。	48
12	宿泊	国内	短期	宮城県石巻市 放課後デイサービス(障がい児)あつふるじゃんぶ石巻・あつふるプラス	[あつふるじゃんぶ障がい児(中高生)が利用し、様々な体験を通し社会で必要な基本を学び、生活面の自立の向上また就労体験を行う場所。活動の支援、スタッフ補助、活動の企画をし実施も行う。子ども達は、とっても笑顔でフレンドリー。心のふれあいがある。[あつふるぶらす]日常生活に少し困難を生じている18歳以上の方が通う福祉サービス。生活訓練や就労訓練を行い、自立支援、就労支援を行う。一緒に活動をし、利用者様(障がい者)対応・スタッフ補助を行う。[未来サポート館]3.11東日本大震災から防災学修をする。	8
13	宿泊	国内	中長期	福岡県大川市 モノ作りの魅力発信プロジェクト	国内有数の家具の生産地である福岡県大川市にて、自身のデザインによる家具作りをととし、大川市のモノ作りや地方都市の魅力学び、発信するプログラムとなっている。大川市は、伝統技術だけでなく「ねこ家具」など新たな試みもあり、魅力ある地域資源が溢れている。	4
14	宿泊	国内	中長期	秋田県鹿角市地域DMO体験プロジェクト	北東北の中心に位置する十和田八幡平国立公園に抱かれ、世界遺産1件、ユネスコ無形文化遺産2件を有する自然と伝統文化に恵まれた鹿角市において、本市の主力産業である観光産業に関する調査研究活動を通じて、地域の魅力を発信しながら観光客の増加に結びつけるための戦略的な地域活性化策について学ぶ。	10
15	宿泊	国内	中長期	鹿児島県SDGs 未来都市「徳之島」 “豊かさ”溢れる島民の暮らしエコツーリズム開発体験	さあ、シマの宝を見つける学びの旅へ。2021年に世界自然遺産登録された豊かな山・海。それらの自然と共にある島民の暮らし。自然や人に感謝する「文化」や、助け合いの精神である「ユイ」など自然と共に織りなされてきた人々の暮らしの中にはさまざまな“豊かさ”が存在している。本プログラムでは徳之島の1つの集落を舞台に“環境文化”という視点で住民から“歴史”や“文化”など大切にしている“豊かさ”をインタビュー取材し、みなさん自身が1つのエコツアーコースを開発する。あなたの考えた企画が実際に徳之島の“豊かさ”を紡ぐきっかけになるかもしれない!	10
16	宿泊	国内	中長期	福島県猪苗代町 レイクサイドホテル みなとや・グリーンハウス	ホテル「レイクサイドみなとや」や農家ででの体験活動を通し、猪苗代地域の活性化に取り組むホテルと農家の経営や運営の実感をもって理解する。猪苗代の人・自然・産業・歴史に親しみ、そのよさや魅力を理解するとともに、地域のホテル・農家の取り組みについて、学生の目線からさらに改善する方策等を思考・検討して、提案できるようにする。学外学修の活動に主体的・能動的に取り組むとともに、チームで学修する互いのよさを生かしながら活動し、自分の生き方を考えられるようにする。上記のねらいの実現のため、事前授業では、猪苗代・会津地域の地理的歴史的な環境、ホテル業務、農家の仕事の基礎的な理解に取り組み、各自の学外学修の課題設定につなげる。事後授業では、学修内容をふり返り、整理・まとめ・表現する活動を通して、学修の意味理解や自覚を深める。	2
17	宿泊	海外	短期	白象の国(タイ)	タイでの仏教施設や文化施設の訪問、サイアム大学学生との交流を実施する。	16
18	宿泊	海外	短期	グローバル・ビジネス研修(アメリカLA)	アメリカLAを実際に訪問し、ビジネス講演会、企業見学、アメリカ在住ビジネスパーソンの講演、ロス在住日本人ビジネスパーソンとともにセミナーなどを実施する。	18
19	通学	国内	短期	必修1単位：江東区児童館インターンシップ(南砂児童館)	江東区内にある児童館で保護者や一般の方の来館者対応や児童館に遊びに来た児童と遊んだり、遊具の片付け、掃除などの日常業務補助、機会があればこども達の手作りお化け屋敷などのイベント運営補助等を行う。	2

No	開講型	国内外	期間	プログラム名	プログラム概要	派遣 学生数
20	通学	国内	短期	共生社会フィールド・スタディーズ 身近なバリアを探る(東京)	障害の有無にかかわらず全ての人が共に生きる社会(インクルーシブ社会)の推進にむけて、学外に足を運びながら、私たちの身近にあるバリアを理解し、そのバリアを克服するために必要とされる視点や行動を学ぶ。	115
21	通学	国内	短期	仏教・築地・鎌倉FS	武蔵野大学の基盤となる建学・仏教の精神への理解を深めるプログラム。実習先は、本学発祥の地である築地本願寺、鎌倉の古寺、博物館や美術館。実習先で感じたことや学んだことが、今後の大学での学修に対するモチベーションにつながることを期待する。	20
22	通学	国内	短期	【法律学科限定】武蔵野地区空き家等状況調査(西東京市)	【法律学科限定】西東京市の空き家等の状況調査を行う。市内をいくつかのエリアに分け、エリアごと空き家等の現地調査を実施し、地域の課題を含め、現況報告書を作成する。また、現況調査の結果を踏まえ、空き家問題に対する予防や利活用について提案を行う。	6
23	通学	国内	短期	【法律学科限定】出入国在留管理・税関視察プログラム	【法律学科限定】日本の出入国在留管理行政や税関行政について、事前学修、関連施設の訪問及び講演への参加等を通じて学び、「人」と「物」の出入りについて制度を確認する。そして、これらを通じて見聞した課題を整理し、今後の行政や市民社会のありかたを検討する。	40
24	通学	国内	短期	【法律学科限定】武蔵野地区空き家等状況調査(武蔵野市)	【法律学科限定】武蔵野市の空き家等の状況調査を行う。市内をいくつかのエリアに分け、エリアごとに空き家等の現地調査を実施し、地域の課題を含め、状況報告書を作成する。また、状況調査の結果を踏まえ、武蔵野市の空き家対策として、空き家の予防・適正管理・利活用に関する提案を行う。	23
25	通学	国内	短期	東京臨海副都心 まちの景観づくり活動(花壇管理・クリーン活動)	「まちの景観」を構成する植栽の維持管理活動。2020東京大会の会場に隣接する都立公園で実施されている「花と緑のおもてなしプロジェクト」に参加し、活動をととして「まちの景観づくり」に貢献するとともに、社会人との交流体験により個々のキャリア向上を図る。活動内容は「サマーガーデン」の維持管理活動(花壇摘み、除草、灌水、花植えなど)を2日間実施する。	318
26	通学	国内	短期	TOKYO GLOBAL GATEWAY 体験型英語学習+ 途上国社会問題解決フィールドスタディー	東京お台場にある英語体験型施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」で1日コースのプログラムを体験する。イングリッシュスピーカーとの会話を通じて、英語でのコミュニケーション力と異文化理解力を強化する。その後、途上国の社会課題について理解を深め、解決策の創出に挑戦することを目的としたフィールドスタディを対面で3日間実施する。途上国の課題をチームで考え、解決策を提案する。	37
27	通学	国内	短期	東京グリーン・キャンパス・プログラム(東京に残された緑地での保全活動)	東京都は都内に残された里山を保全地域として指定し、保護している。里山は人が自然を利用することで保たれていた景観であり、維持していくためには、定期的に草刈りや伐木を行うなど、多くの人手が必要である。本プログラムでは作業の必要性などの説明を受けた上で、実際に保全地域にて、草刈り等の保全活動を実施する。作業の楽しさ、大変さを体験することを通じて、人と自然との関わりについて考えるきっかけとなることを期待する。	30
28	通学	国内	短期	東京でマレーシア・ボルネオ島の熱帯林と人々の関わりを学ぶ	マレーシア・ボルネオ島の自然や野生生物の保全について現地の専門家によるオンライン講義(日本語通訳含む)を通じて学ぶ。また、板橋区立熱帯環境植物園を訪れ、実際に熱帯林に生息する植物や動物について見学する。現地の人々の暮らしと熱帯林の関わりについても地域研究の専門家も招いて伺い、ディスカッションを行う。	29
29	通学	国内	短期	ビジネスと国際協力～SDGs 複数目標の達成に取り組む人々の「セルフ・デベロップメント」	インドのオリッサ州、テランガナ州は、児童労働などの問題も現存する貧困州。一般財団PBP Cottonはそれらの地域で綿花栽培農家とその家族にオーガニックコットン栽培の導入を支援している団体である。本研修では、SDGs達成に寄与する一般財団PBP Cottonの理事で企業に勤務している人々が様々な立場から講演を行い、学生の皆さんが楽しくインドの問題や貧困問題、綿農家から衣服ができるまでの過程を学ぶ。最終日は東北地域で綿農家作業を行う。	30
30	通学	国内	短期	作陶における伝統の創造	陶芸家の伊藤麻沙人先生にご指導いただきながら、陶器を製作する。伊藤先生の工房で撮影した動画によって制作の手順を学び、各自自宅で陶土を捏ね、形を作り、施釉の段階では伊藤先生の工房に伺って作業を行う。オンラインで行う事前・事後授業では、陶磁器史、陶芸にまつわる文化、陶芸における化学などについて学ぶ。この体験と講義を通じて、自分自身の手でものを作り出す喜びと、陶磁器に関わる人間の営みの歴史や陶磁器が生まれる原理などを知ることができる。それは私たちの身の回りにある様々なもののなかから本物を見分ける力を養うことにもつながる。	35
31	通学	国内	短期	Field Study in English (FSiE)	Explore career development opportunities by attending more than three events such as a public seminar, forum, symposium, job fair and so forth to be offered in English. A student selects one from periodical announcement on Mascut or one finding themselves and need to approval of a teacher prior to attending. A reflection report needs to be turned in within two weeks after the event.	62
32	通学	国内	中長期	小金井市貫井北センター(NPO法人市民の図書館・公民館こがねい) インターンシップ	図書館・公民館でのインターンシップ。日常業務やイベントの運営補助を行う。NPOだからこそできる運営を体験する。	2
33	通学	国内	中長期	西東京市役所 インターンシップ(児童館ランチタイム)	西東京市内の児童館では、夏休み期間、家庭での孤食防止や居場所としてランチタイムを設けている。その児童館で夏休みを過ごす子どもへの指導を行う。	18
34	通学	国内	中長期	小金井市観光まちおこし協会 インターンシップ(まちと遊びまちから学ぶインターンシップ)	まちの観光資源や地域の魅力発信の取り組みについて学習し、商店街や公共施設のイベントの体験実習を行うことで、まちの楽しい人々と交流し地域活動を体験する。	2
35	通学	国内	中長期	武蔵野市福祉公社 高齢者福祉支援インターンシップ	社会活動センターの各種講座の運営を中心に、在宅介護・地域包括支援センター、住宅改修・福祉用具相談支援センター、デイサービスセンター、権利擁護センター、法人本部等の実務補助を実施。	2
36	通学	国内	中長期	小金井市 地域の寄り合い所 また明日	赤ちゃんからお年寄りまで、小中高生や地域の人とも立ち寄り「また明日」にて地域の人々と交流する。乳幼児のお世話や、小中学生の話し相手、勉強の見守り、高齢者に寄り添いながらサポート業務を行う。	4
37	通学	国内	中長期	合計5単位：江東区児童館インターンシップ(4児童館：亀戸・亀戸第三・東砂児童館・千田児童館)	江東区内にある児童館で保護者や一般の方の来館者対応や児童館に遊びに来た児童と遊んだり、遊具の片付け、掃除などの日常業務補助、機会があればこども達の手作りお化け屋敷などのイベント運営補助等を行う。	7

※ 上記一覧は令和4年度に開講されたプログラムの一覧になります。令和5年度は変更となる場合があります。

令和4年度 基礎フィールド・スタディーズ
開講プログラム一覧

基礎



No	開講型	国内外	期間	プログラム名	プログラム概要	派遣 学生数
38	通学	国内	中長期	合計4単位:江東区児童館インターンシップ（4児童館:大島・亀戸第二・小名木川・東陽児童館）	江東区内にある児童館で保護者や一般の方の来館者対応や児童館に遊びに来た児童と遊んだり、遊具の片付け、掃除などの日常業務補助、機会があれば子ども達の手作りお化け屋敷などのイベント運営補助等を行う。	6
39	通学	国内	中長期	合計3単位:江東区児童館インターンシップ（2児童館:辰巳・塩浜児童館）	江東区内にある児童館で保護者や一般の方の来館者対応や児童館に遊びに来た児童と遊んだり、遊具の片付け、掃除などの日常業務補助、機会があれば子ども達の手作りお化け屋敷などのイベント運営補助等を行う。	2
40	通学	国内	中長期	小金井市役所 インターンシップ	ほどよく都会 ほどよく田舎の小金井で、市役所の仕事を体験する。様々な部署で市役所内の補助業務や公民館での事務等補助を行う。 ①所属部署における一般的な市役所業務の補助業務 ②公民館での補助業務	2
41	通学	国内	中長期	江東区役所(江東区文化コミュニティ財団)文化事業インターンシップ(江東公会堂(ティアラこうとう))	1,200人の大ホールを擁するティアラこうとうで開催されるコンサートや公園の準備を行い、舞台芸術がどのように運営されるかを知るとともに、人々の生活にとって文化や芸術がどのような意味を持つかを考える。	2
42	通学	国内	中長期	千川福祉会 社会福祉施設サポートインターンシップ	就労継続支援B型事業所においては、封入・封緘作業の支援・補助を行う。生活介護事業所においては、封入・封緘作業の支援・補助の他にアート活動の支援・補助なども行う。放課後等デイサービス事業においては、買い物・アート・運動などの活動支援・補助をする。	8
43	通学	国内	中長期	西東京市役所 インターンシップ (サマー子ども教室)	実施小学校全児童を対象に、夏休みの居場所作りとしてカリキュラムを組み、体験学習を中心に1クール約20人の教室形式で工作・クッキング・企業の出前講座などの指導補助を行う。また、学生立案による企画事業や児童指導全般の指導なども実施。また、サマー子ども教室の実施がない日は、市内児童館もしくは学童クラブで、児童指導補助として子どもたちの活動を援助する実習を行う。	5
44	通学	国内	中長期	【建築デザイン学科限定】大成建設 体験してみよう!「地図に残る仕事。」	【建築デザイン学科限定】建築作業所で、現場管理業務の流れを学修する。工事計画を基に実際に建物が建てられていくダイナミックな過程を、体験する。国内最大手のゼネコンである大成建設の都内の工事現場において様々な取り組みを見学・体験する。現場担当者の指導の下、毎朝朝礼とラジオ体操から始まり、コンクリート打設見学、タワークレーン見学、配筋見学などを行う。様々な職能を有する専門家集団が活動する建設工事現場での業務は、モノづくりを実体験出来、多くの気づきや智恵となる。	1
45	通学	国内	中長期	東京特別区人事厚生事務組合／特別区協議会（東京23区特別区を知ってもらうプログラム）	特別区協議会でのインターンシップを行う。特別区協議会（事業部）では、「情報」「研究」「教育」をキーワードに特別区の自治の発展につくす事業を行っている。三つの分野を全て体験することを前提に、東京大都市地域の歴史的な資料、古地図の目録の作成、行政資料を検索するための簡単なガイドの作成、研究成果書(特別区制度の紹介)の整理、中高校生向けの特別区制度の紹介教材の作成、一般市民向け特別区の自治に関する講座・講演会・自治体間連携シンポジウムの運営等の補助業務を行う。東京23区施設区関連施設取材し、記事作成する。これらの事業をとおして、特別区について知ると同時に、一部の事業については自分自身でも企画を考えるプログラム。	2
46	オンライン	国内	短期	(オンライン)隣のアジア人	今やどこにでも見かける外国人労働者。かれらの背後にある文化、家族、思いなどを共生者としての視点から見聞きさせてもらい、これからの多文化社会のありようを学ぶ。	110
47	オンライン	国内	短期	沖縄に学ぶ	沖縄はもともと日本の周辺にあって独自の文化を持つ小さな国であったが、近代に入り日本に飲み込まれ、今や辺境の一県として国境に立たされている。沖縄の文化的独自性と特異な政治的地位を見て学ぶ。	19
48	オンライン	国内	短期	人間とその営為	さまざまな専門分野の先生方による学外学修要素を含むオムニバス形式のオンラインプログラム。FSが本来目指している「結びつきと支え合い」による人間社会の総合的な理解・実感を、多方面にわたる専門分野を持つ先生方の知識・見識を総合し、学ぶ。	153
49	オンライン	国内	短期	山梨県西桂町地域活性化プロジェクト2022	地域活性化に向けて、西桂町を知り、町の人が大切にしているものを、共に学び、動画や写真等をFacebookやInstagram等に発信する。8/15（夏祭り参加）と最終日（成果発表8/22～26の間の1日）の計2日間現地での活動を予定している（日帰り）。	10
50	オンライン	国内	短期	(オンライン)江戸東京 都市史の試み	都市の歴史は人間の暮らしの歴史である。私たちの住んでいる東京を歩き、その成り立ちを学ぶことで、私たちの歴史が祖先たちによってどのように織りなされてきたのか、どう書かれ、記憶されてきたのかといった、人間の固有の属性である「歴史」について理解を深め、この世界の結びつき、支えあいの姿に目を開いていくプログラムである。	312
51	オンライン	国内	短期	世界文化遺産富士山エコツアーから学ぶ自然共生サステイナブルな生き方	富士山麓のキャンプ場を本拠地として世界遺産となっている富士山の自然、歴史、文化をエコツアーを体験することで学び、自治体、NGO、自然学校、農林業、観光業などを訪ね、可能な限り現場での運営側での体験の機会を得るようにする。 自然体験活動指導者の資格取得希望者には、本講座終了後に補習の機会を作り、資格取得を目指す。	30
52	オンライン	国内	短期	山形県大石田町 「そばの里 大石田町の歴史と文化・未来に向かって」	大石田町の自然環境、産業、歴史と文化などについて学び、町の現状と課題を把握する。現在、農林水産省から出向している副町長から町の課題やその解決策などの講義を受け、町をより活性化する方法を学生の視点から提案する。さらに、町の食文化として根付いている「そば」についての理解を深め、そばの産業が更に発展する方策等を提案する。	16
53	オンライン	国内	短期	(オンライン)日本の「神様」めぐり	宗教は言語と並んで人間の基本的かつ固有の属性である。人間である以上祈りのない民族はない。日本人は無宗教だと外国人から言われ、自分でもそう言うことがあるが、本当にそうだろうか。日本人にとっての祈りとはどのようなものなのか。本プログラムでは日本人の祈りの現場をめぐすることで、日本人の心性への理解、しいては広く人間を理解する一助としたい。	236
54	オンライン	国内	短期	はばたけ秋田県上小阿仁村!～人口2,200人の小さな村にある魅力を見つける～	お年寄りが多く、産まれてくる子供たちが少ない上小阿仁村で、高齢者福祉施設での支援活動、自然環境、食文化等を体験する。その体験を通じて、上小阿仁村を今よりも活性化するために、どのような取組みをすればよいか考える。具体的には、高齢者福祉センターや、老人ホームでの高齢者の福祉活動の他、上小阿仁村の方とより深く関わり、村の抱える課題について解決策を考え、地域を元気にする活動を行う。	19

No	開講型	国内外	期間	プログラム名	プログラム概要	派遣 学生数
55	オンライン	国内	短期	(オンライン)仏さまとの出会い	日本文化に仏教が与えた影響の大きさについては今更言うまでもないだろう。しかし、高校までの文化史で習った日本仏教は最澄や空海、あるいは鎌倉新仏教の祖師方の思想であったり博物館にある美術の名作だったりして、実際の暮らしの中の仏教は全然登場してこなかったのではないだろうか。しかも、それらも京都・奈良を中心とした畿内中心の歴史だったのではないだろうか。本プログラムでは東国庶民の仏教信仰をテーマにして、東京から日帰り圏での仏教信仰の実態を見学し、地域の人々の結びつきや信仰を通じた支えあいについて気づきを深めていく。	113
56	オンライン	海外	短期	グローバル教育オンライン研修	アメリカの学校の様子や、現地教員による講演などを聞き、アメリカの教育現場を学ぶ。また、同時にベトナムの教育現場も学び、違いを比較する。	21
57	オンライン	海外	短期	海外医療・福祉・薬学オンライン研修	アメリカ在住の日本人看護師と日本人心理カウンセラー等の講演を聞いたり、ベトナムで活躍している日本人医療従事者からの業界最前線のお話を聞く。アメリカの医療、ベトナムの医療を学ぶことで、これからの学びに活かす。	31
58	オンライン	海外	短期	きらめく仏塔の都	タイに来なくてもタイを体験できる!タイに来てもなかなか体験できない!をコンセプトに、タイの環境と今・タイ人のくらし・タイの歴史と美術・タイ語・タイの観光などについて、現地にいる日本人教員とオンラインで学修をする。	53
59	オンライン	海外	短期	台湾南部「琉球」スタディツアーー高雄・屏東・台南から“つながり”を考えるー	台湾の複雑な民族と言語について、それが形成された歴史的背景や、そうした多文化性が生み出す台湾の魅力について学ぶ。協定大学である大仁科技大学応用日語系(日本語学科)学生とのオンライン交流会を始め、台湾南部(高雄、小琉球／屏東、台南)をオンラインで散策する。	49
60	オンライン	海外	短期	ハリーポッター&シャーロックホームズからイギリス文学を学ぶ旅	このプログラムでは、世界中で人気を誇るイギリスの代表作、ハリー・ポッターとシャーロック・ホームズを通してイギリスの文学、そして物語の背景にあるイギリスの文化、歴史などについて学ぶ。講義＋一部イギリスとオンライン中継(予定)でつながり、日本に居ながら物語の舞台となった地をバーチャルで体験、その世界観に入り込む。その他、テーマに合わせたグループごとのディスカッション、発表まで行う。	39
61	オンライン	海外	短期	世界を牽引するIT産業都市上海の今	オンラインで現地の専門家等との交流を通じ、中国の経済を牽引する都市・上海を中心として、IT産業の中でテーマを設定し、中国での各企業の現状やサービスの展開方法などを学ぶ。大学・企業をオンラインで深く知ることにより、グローバル化が進む中で、新しいビジネスになっていくエネルギーや国際人としての在り方、自国の文化をどのように発信していくかを学ぶきっかけにしていきたいと考えている。	26
62	オンライン	海外	短期	Online カンボジアSDGs研修	カンボジアには、教育・福祉・労働など様々な社会問題がある。カンボジアの社会問題の背景として、1970年から1993年まで内線があった。特に原紙共産主義を目指したポル・ポト政権時代には、医者や教師などたくさんの知識人が虐殺され、当時の人口の4分の1になる約200万人が処刑されたと言われている。今回の研修では、カンボジアの内線から、現地の社会起業家からソーシャルビジネスを学び、研修最終日に「自分たちは何ができるか」を社会起業家に発表する。	3
63	オンライン	海外	短期	台湾入門～台湾を楽しみ、台湾を学ぶ～	台湾について学び、考えるプログラム。親しみ隣人たちの素顔について学ぶ。現地事情や歴史、日台の絆と結びつき、日台関係論など、複数の視点から台湾という土地を見つめていく。同時に、台湾について学ぶことで、冷静でかつ客観的な国際感覚を培養し、見聞を広めることも目的とする。現在台湾に暮らしている日本人の生き方、台湾人の戦争体験、台湾の若者事情など、盛りだくさんの内容を想定している。台湾について学びたいという気持ちを抱く、すべての皆さんを歓迎する。	49
				合計プログラム数	63プログラム	合計派遣学生数 2419名

※ 上記一覧は令和4年度に開講されたプログラムの一覧になります。令和5年度は変更となる場合があります。



令和4年度 発展フィールド・スタディーズ
開講プログラム一覧

発展



No	開講型	国内外	全学・学科	プログラム名	プログラム概要	派遣 学生数
1	宿泊	国内	全学	鹿角市UIターン者の起業活動に関する研究プログラム	UIターンの経営者にインタビュー調査を行い、地方で事業を起こすために必要な視点や考え方、知識を学ぶ。また、インタビューから事業課題を聞き出し、ワークショップなどを通して解決策を考えて、発表する。	12
2	宿泊	国内	全学	鹿角市中心市街地活性化	鹿角市の中高生と一緒に鹿角市の商業の未来を考える。具体的には、ステークホルダーへのインタビュー調査を実施し、その結果にもとづきワークショップを開催する。	7
3	宿泊	国内	全学	長野県信濃町の地域活性化企画Ⅰ	長野県信濃町における地域活性化を考える。日本の地域経済、産業、地方行政に触れて、地方活性化の企画を作成する。2週間程度(60時間)の学外学修を行う。	8
4	宿泊	国内	全学	長野県信濃町の地域活性化企画Ⅱ	長野県信濃町における地域活性化を考える。発展FS基礎で学んだことに基づき日本の地域経済、産業、地方行政について考察し提言をまとめる。提言は論文としてまとめ、提出する。2週間程度(60時間)の学外学修を行う。	3
5	宿泊	国内	全学	長野県信濃町の地域活性化企画Ⅲ	長野県信濃町における地域活性化を考える。発展FS応用で学んだことに基づき日本の地域経済、産業、地方行政について考察し提言をまとめる。提言は論文としてまとめ、提出する。2週間程度(60時間)の学外学修を行う。基礎、応用を学ぶ学生の指導的立場となり、他者の理解と向上に努める。3年間を通して人のつながりについて深く学ぶ。	2
6	宿泊	国内	全学	コピーライティング基礎	広告・ブランディング分野で働くコピーライターの技術やノウハウを学び、情報のアウトプット力(取材やヒアリングにより情報を集め、整理し、伝わるように言語化、編集、発信する力)を高める。	14
7	宿泊	国内	全学	コピーライティング応用	広告・ブランディング分野で働くコピーライターの技術やノウハウを学び、情報のアウトプット力(取材やヒアリングにより情報を集め、整理し、伝わるように言語化、編集、発信する力)を高める。特に応用では実践的な活動を行う。	3
8	宿泊	国内	全学	ヘリテージツーリズム:和歌山の古道を歩く	プログラムは、和歌山大学が主催し、例年、スペイン・サンティアゴ大学も参加して行われるフィールド・スタディーズである。「和歌山の参詣道を歩く」ことを通じて「環境と精神文化」を基盤とする持続可能な「スローツーリズム」について学ぶことを目的とする。世界遺産地「熊野古道中辺路」の全行程を歩き、自然の持つ精神文化に触れると同時に、観光開発の基礎要素―来訪者の動機、地域住民との関わり、リスク管理を含む、プランニング、マネジメント、マーケティングなどについて議論する。古道を舞台として観光の多様な側面について学ぶことを趣旨とし、「国内外の学習者に広く門戸を開く国際プログラム」である。	1
9	宿泊	海外	学科	教育海外研修	アメリカ、ミズーリ州Lee's Summitにおいて教育インターンシップを行う。参加学生が現地の小学校、中学校、高等学校で授業補助、見学を行い国外の教育実践の理解を深める。研修期間中はホームステイを行い、現地の文化を学ぶ。	18
10	通学	国内	全学	仏教を学び、仏教から学ぶFS	仏教に関連する様々な分野の学修を通して、新たな視点から自己と世界を見る。	5
11	通学	国内	全学	映像制作表現プログラム(基礎)	西東京市と連携を取り、自治体の個性を活かした映画制作を行う。また、基礎的な映像製作(企画、シナリオ、演出、制作、撮影、編集など)の習得を目的とする。	16
12	通学	国内	全学	映像制作表現プログラム(応用)	西東京市と連携を取り、自治体の個性を活かした映画制作を行う。映像製作の習得にとどまらず、映像文化の歴史を踏まえながらも、新たな価値を生み出す創造者を育成することを目的とする。	8
13	通学	国内	全学	“商い”を知る	本学有明キャンパスにあるロハスカフェ有明のご協力のもと、社員の方にご指導いただき、限られた元手をもとに、学生たちに実際に商いをしてもらう。何をどのように売るか、企画から交渉、経理、決算にいたるまで全て学生の責任において行ってもらう。	10
14	通学	国内	全学	作陶における伝統の創造Ⅱ	オンライン事前授業と教材で作陶の方法を学んだ後、送られた陶土と道具を用いて自宅で器を作る。履修者には、素材と釉薬の選択と絵付けも可能とする。担当教員による素焼きの後、全員が工房で直接指導を受けながら施釉する。同教員が本焼きの後、各自の自宅に送付する。オンライン事後授業として、陶芸の歴史と陶芸の文化史、陶芸の化学の講義および各自が作製した動画による作品紹介を行う。	8
15	通学	国内	全学	学生が取材編集する中堅企業のCSR・SDGsを指向した経営戦略	企業が取り組むCSR及びSDGsのレクチャーに加え、将来重要となる企業経営の視点(SDGs等)から企業の経営戦略を立案する。上記、活動をとおり、実践的に企業の非財務価値を理解する。更に、実際に中堅企業のCSR・SDGsレポートや関連動画を作成し、企業のメディア戦略についても実践するプロジェクトである。	13
16	通学	国内	学科	DV被害女性と子どもに対する支援	DV被害等を受け、シェルターに滞在したことのある女性やその子どもに対して、自立を目指す多様な心理的支援活動に参加する。被害を受けた子どもの学習支援を行ったり、ワークショップや行事の運営、会議に参加しつつ、被害者支援活動について学ぶ。5月から12月、月に2,3回計10時間程度/月の参加となる。不定期の活動となるため、曜日等は、その都度話し合いにより決定する。新型コロナの影響により、中止・延期・変更の可能性あり。	8
17	通学	国内	全学	「働きがい」を創り出す人材になる	SDGsの目標8が目指す「働きがい」と「経済成長」を達成するためには、会社の求める人材像を知り、自分自身を知る必要がある。それらが上手くマッチしない社会からは「働きがい」も「経済成長」も失われてしまうだろう。本プログラムは、①人事部門等で働く人々へのインタビューを通して、会社が求める人材像を理解する、②ワークショップ等に参加することを通して、自分自身を理解するためメソッドを使いこなせるようになる、という2つの目標を置いている。さらに、そこで身に着けた知識や理論やメソッドを応用して、履修者の学生自身だけではなく、彼(女)等の周りの学生に対しても「働きがい」を創り出せるような人材となることを、本プログラムの最終的な目的としている。	11
合計プログラム数				17プログラム	合計派遣学生数	147名

※ 上記一覧は令和4年度に開講されたプログラムの一覧になります。令和5年度は変更となる場合があります。

武蔵野大学

令和4年度学外学修プログラム

武蔵野フィールド・スタディーズ パンフレット

2023 年 3 月発行

編集代表山田 均

編集学外学修推進センター事務課

発行武蔵野大学 教育企画部 学外学修推進センター事務課

【有明キャンパス】

〒135-8181 東京都江東区有明三丁目3番3号

【武蔵野キャンパス】

〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号

写真提供

- ・基礎 FS

福岡県大川市 モノ作りの魅力発信プロジェクト
- ・基礎 FS

鹿児島県 SDGs 未来都市「徳之島」“豊かさ”溢れる島民の暮らし
エコツーリズム開発体験
- ・基礎 FS

日本文化 海の道
- ・基礎 FS

作陶における伝統の創造
- ・基礎 FS

北海道東川町役場 地方行政フィールドワーク
- ・基礎 FS

八丈島 島の人々との交流及び観光モニター活動
- ・基礎 FS

那須甲子の森 SDGs 運動会～自然の中で感じる、学ぶ、考える～
- ・基礎 FS

白象の国 (タイ)
- ・基礎 FS

共生社会フィールド・スタディーズ 身近なバリアを探る (東京)
- ・基礎 FS

グローバル・ビジネス研修 (アメリカ LA)
- ・発展 FS

鹿角市 UI ターン者の起業活動に関する研究プログラム
- ・発展 FS

鹿角市中心市街地活性化
- ・発展 FS

商いを知る

本書の無断転記を禁じます

©Musashino University